

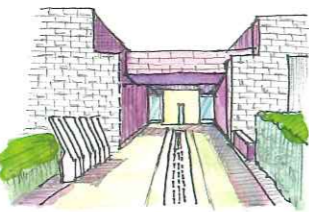
すいせいしょくぶつこうえん もり
①草津市立水生植物公園みずの森

「植物と人、水と人のふれあい」をテーマにした琵琶湖の自然に囲まれた植物公園。ハスやスイレンなどの水生植物をはじめ四季を通じて様々な植物と接することができ、一年を通し多くのイベントが開催されています。



びわこはくぶつかん
②滋賀県立琵琶湖博物館

「人と湖」をテーマに、琵琶湖の生い立ち・人と生き物との関わりについて学べる「体験型」博物館。淡水の生き物の展示としては日本最大級の博物館で、関西ではここでしか見られないバイカルアザラシが大人気です。



おろしものかんどう
③下物観音堂とクロマツ【市保護樹木指定】

江戸時代中頃、烏丸崎の浜から石造の観音像が引き上げられ、この石仏を祀るために建てられたのが下物観音堂です。この観音堂のほりに立つのが草津市が指定する保護樹木「クロマツ」で、樹高15m 樹幹363cm、推定樹齢200年と伝えられています。



しもでらかんのんどう もくぞうせいのかんのりつぞう
④下寺観音堂の木造聖観音立像【重要文化財】

白鳳時代の下寺観音堂が廃寺となった場所に当時から存在した観音像をお祀りするためのお堂が下寺に建っています。草津市史に、芦浦の地で仏法を説かれた聖徳太子は「下の寺」「下のもの」と勅宣して仏像を安置したと伝えられ、この時の「下の寺」が下寺の観音堂本尊聖観世音菩薩とされています。また「下のもの」は下物町の花摘寺廃寺を指すと伝えられています。



しな さいごきゅう けんぞうぶつ
⑤志那神社の市内最古級の建造物【重要文化財】

志那神社本殿は、国の重要文化財に指定されています。本殿の棟木に記された「永仁6年」(1298)の墨書から、鎌倉時代に造営された市内最古の木造建造物です。一間社流造、檜皮葺の社殿は柱の木割が細かく、正面軒は真反りであり極めて軽快な外観を持つ建物です。



れんかいじ すいれん そうかん くひ
⑥蓮海寺と水蓮・宗鑑の句碑

志那港の跡に建つ蓮海寺には、俳諧の祖、山崎宗鑑の「元朝のみるものにせん不の山」の句碑のほか、重要文化財木造地藏菩薩立像や常夜灯が残っています。蓮の名所でもあった浜は埋め立てられ、湖岸道路が築かれ、かつての風景は大きく変貌しましたが、対岸の比叡、比良の山並み、広がる琵琶湖を今なお遠望できる志那の風景は草津の名所の一つといえましょう。



みち えきくさつ
⑦道の駅草津 グリーンプラザからすま

草津にある「道の駅」でドライバーが安心して休憩できるように作られた施設です。施設内では近江米や近江牛など滋賀県の特産物や地元で採れた農産物を販売、また家族で楽しめる四季折々に様々なイベントも開催しています。



⑧ロックベイガーデン

季節ごとにいちご狩りやさつまいもの収穫等ができる体験農園で、園内には本場の近江牛等を味わえるレストランや、草津特産の「あおばな」関連商品やおみやげなども販売しています。



しせき はなつみであと せきぞう
⑨市史跡・花摘寺跡と石造品

下物町の天満宮は古代寺院、花摘寺跡の所在地とされ、境内から出土した古代瓦や礎石、手洗鉢に転用された塔心礎、一辺が174cm四方の石造露盤などが残されており、また発掘調査により約1300年前、堂塔を備えた南北約220mか約160m、東西約160mの広大な大きさの寺院がわかってきました。



あしうらかんのんじ
⑩船奉行・芦浦観音寺【日本遺産認定】

日本遺産に認定されている芦浦観音寺は、聖徳太子開基、秦河勝(はたのかわかつ)創建と伝わる白鳳寺院で、境内の重要文化財観音寺阿彌陀堂、同書院などや、20件の国・県・市指定文化財の文物などが残され、周辺地を含め国の史跡に指定されています。



い き し ろ じ ん じ ゃ ほん ぜん もり
⑪印岐志呂神社本殿と社
 【市指定文化財】

片岡町の東にある印岐志呂神社の境内は、緑豊かな鎮守の社となっています。印岐志呂神社本殿は、慶長4年(1599)に観音寺九世詮瞬(せんしゆん)が本願となり建立した三間社流造、檜皮葺の社殿で菱格子戸などを取り入れた桃山時代の優れた建物です。

そうじゃじんじや ゆいしよ
⑫惣社神社の由緒

志那中町の惣社神社の祭神は、志那津彦命(シナツヒコノミコト)、志那津姫命(シナツヒメノミコト)の2神。長寿や五穀豊穡、国家の平安を司る神としてお祀りされてきました。創祀年代は不詳ですが社記に「天智天皇四年右大臣中臣金連勅を奉して風神を鎮座し、意布伎神と尊崇したに創まる」と記されている。



やすらじんじや でんせつ
⑬安羅神社とアメノヒボコ伝説

穴村町に天日槍(アメノヒボコ)を祭神とする安羅神社があります。古事記、日本書記に新羅の王子、アメノヒボコが来住したと記された「吾名邑(あなむら)」が現在の穴村町と言われています。安羅神社には、温石(おんじやく)と伝わる数十個の黒色の小石が社の中に納められています。



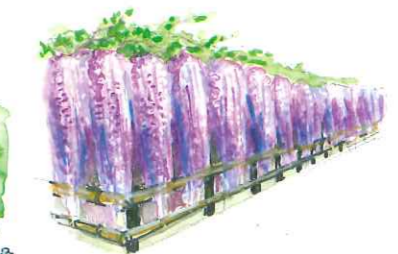
ほうこうじ ゆいしよ
⑭宝光寺の由緒

宝光寺は天武天皇勅願、僧定恵創建と伝えられる寺院で、重要文化財の薬師如来像が安置されています。発掘調査により当時の講堂跡と推測される瓦積基壇が発見され、その周辺からは白鳳時代(約646~710)の瓦が大量に出土したことから、その頃の寺院であることがわかりました。



よしだ けいゆうたく とらのすけ
⑮吉田家住宅と吉田虎之助
 【県指定文化財】

志那町吉田の地に所在する吉田家は、明治末~昭和初期に、淡水真珠の祖と呼ばれ、政治家、事業家、文化人として活躍された吉田虎之助の生家です。吉田家は代々庄屋を務めた旧家で、広大な敷地内には、現在、主屋のほか、長屋門、倉や水屋等の建屋の配置から、江戸時代後期~幕末頃の庄屋の屋敷構えを知りうえて、貴重な文化財です。



さんだいじんじや
⑯三大神社のフジ【市指定文化財】

三大神社内の藤は市の天然記念物に指定されています。穂が地面に擦るほど長くなることから「砂摺(すなずり)のフジ」と呼ばれる見事な古藤が毎年4月下旬開花します。また近隣の志那神社、惣社神社にも、境内に藤があり「志那三郷の藤」とも呼ばれています。

